

SHOW HEY シネマルーム



Data
監督・原案・武術指導：トニー・ジャー
監督・原案・プロデューサー：バンナー・リットグライ
プロデューサー：ブラッチャー・ピンゲーオ
出演：トニー・ジャー / プリムタ ー・デットウドム / ソーラボ ン・チャートリー / サランユ ー・ウォングガチャイ / サン スティック・プロムシリ / パツ タマー・パートオーング

👁️👁️ みどころ

メチャ面白かった『マッハ!』(03年)のパート2の登場だが、今回はCGなし、ワイヤーなし、スタントマンなし、早回しなしの4原則に、「ムエタイ以外も使います」がプラス1。類まれな身体能力を誇るトニー・ジャーが魅せる、剣術、棍棒を含むオールラウンド格闘技にしばし酔いしれたい。もっとも、時代設定の是非は？ヒネリすぎたラストの是非は？やっぱりこの手の映画は、シンプル・イズ・ベストでは？

『マッハ! 弐』は、4原則プラス1

トニー・ジャーがスタントマンから一転、主役として衝撃のデビューを飾った『マッハ!』(03年)はタイで年間興行成績No. 1を記録した他、世界中で大ヒット。メチャ面白い映画だった(『シネマルーム6』194頁参照)。また、映画史上最強の美少女“ジージャー”・ヤーニン・ウィサミタナンを起用した『チョコレート・ファイター』(08年)は惚れ惚れするような怒濤の生傷アクションが素晴らしく、『マッハ!』を超える大ヒット。こりゃ最高の映画だった(『シネマルーム22』173頁参照)。

そんな両者を監督したブラッチャー・ピンゲーオの諷刺文句は、CGなし、ワイヤーなし、スタントマンなし、早回しなし、だったが、今回はそれにプラス1。それは、「今回はムエタイ以外も使います」。つまり『マッハ!』も『チョコレート・ファイター』も見事なムエタイ技が最大の見モノだったが、今回はそれ以外にも酔拳や寝技、日本刀から三節棍、縄標等々の技が満載らしい。『チョコレート・ファイター』でもチャンバラアクションが少しあったが、「アクションシーンでいかに新鮮な驚きと感動を観客に与える

か、常にそれだけを考え続けたトニー・ジャーは本作では原案から監督、アクション指導までつとめたうえ、オールラウンド格闘家としてティン役で主演し、見事な技術を披露してくれる。もっとも、その分必然的にムエタイ技が少なくなるから一長一短だが、トニー・ジャー監督もブラッチャヤー・ピンゲーオ監督の4つの原則をきっちり守ったうえでそんなプラス1を。

時代設定の工夫は是？それとも否？

日本人にとってのタイ旅行の楽しみは、首都バンコクの華やかさの他、アユタヤ遺跡などの古い歴史の観光も含まれている。したがって、時代は今から500~600年前。アユタヤ王朝による侵略が進むタイ。東の王国では家臣ラーチャセーナ（サランユー・ウォングガチャイ）によるクーデターが起き、国王とその妻が殺され、幼少時のティン（ナットダナイ・コントオーグ）だけが悪名高き山賊「ガルダの翼峰」のリーダー・チューナン（ソーラポン・チャートリー）に救われて生き残る、という設定にはビックリ。アユタヤ王朝って、そんなにワルだったの？

『マッハ！』の雰囲気ガラリと変えてあえてそんな時代設定にしたのは、プレスシートによればチューナンたちが住む山奥の村で少年ティンがムエタイ、剣術、カンフーなどありとあらゆる格闘技を仕込まれ、オールラウンド格闘家に成長していくストーリーを違和感なく納得させるため。つまり、その時代のタイには外国人格闘家がたくさんいたため、そんな時代設定にすれば異人種間のファイトに違和感がないから、ということらしい。しかし、そんな時代設定にしたため登場してくるのは衛兵（スパコン・ギッスワーン）をはじめとする蛮人のような雰囲気の男が多く、その究極は鴉男（ダン・チューボン）。それはそれで面白いのだが、私の好みで言えば、あえてそんな時代設定にしなくとも、単純な『マッハ』の延長としての『マッハ！ 弐』で良かったのでは？さて、あなたは本作の時代設定の工夫は是？それとも否？

残念！紅一点の活用がイマイチ？

本作では冒頭に幼少時のティンが登場し、ワニとの死闘を見せてくれる。また父親シーハーチョー侯（サンスティク・プロムシリ）と母親プラ（パッターマー・パントオーグ）がティンの身を守るためあえてティンを預けたある村では、舞踏家になるために厳しい稽古を続けている美少女ピム（パリンヤーポング・クラムゲウ）との出会いと別れが描かれる。こりゃきつと、後に登場する恋愛劇の伏線になるはず。そう思っていると案の定、ラーチャセーナへの復讐のためにティンが単身乗り込んできた国王就任式の場で、見事な舞踊を見せる成長したピムが登場する。スケベそうな国王はこのピムにちょっかいを出しそうだが、さてその展開は？そして、十数年ぶりに再会したティンとピムの恋の行方は？

当然そんな期待がかかるのだが、残念ながら本作ではこんな紅一点の活用がイマイチ。成人したピムを演ずるプリムター・デットウドムの端整で彫りの深い顔立ちは印象的だし、踊りも見事なものだから、本作ではもう少し彼女の存在感を見せつけてほしかったと思うのは、私だけ？今後のプリムター・デットウドムの活躍に注目したい。

ラストもちょっとヒネリすぎ？その是非は？

前述のとおり、本作ではトニー・ジャー自身が主演、監督、原案、武術指導をつとめたうえ、『七人のマッハ！！！！！！』（04年）『ロケットマン！』（06年）『チョコレート・ファイター』などの監督や製作をつとめたスタッフがこれを支えている。

『チョコレート・ファイター』も基本的には復讐モノだったが話は単純で、いわゆる「勧善懲悪」モノの基本ストーリーとなっていた。つまり、“ジージャー”・ヤーニン・ウィサミタナン扮する美少女戦士ゼンが、苦勞の末に仇討ちを遂げるというものだった。『マッハ！式』のストーリーも基本的にはそれと同じで、チューナンの跡継ぎを囑望されながらも、チューナンの温かい心によって、殺された父母の復讐のため、ティンはティンの親から奪い取った領土に新王朝を設立してその初代王となったラーチャセーナの退治に出かけることに。そんな筋書きによれば、ラーチャセーナの国王就任式に舞踏家として出席したティンが俄然変身し、憎き父母の敵ラーチャセーナを見事討ちとるという単純ストーリーがベスト。スクリーン上では予想どおりのストーリーが展開し、なるほどそうか、これにてめでたくハッピーエンド。と思ったが、意外や意外、本作はその後思わぬ展開と、更なる過酷なアクションが・・・。

日本では『鞍馬天狗』から健さんのヤクザ映画に至るまで、「正義が勝つ」という王道が貫かれているが、『マッハ！式』ではラストになぜか、大きなヒネリが入っている。そんなラストはちょっとヒネリすぎ？さてあなたは、そんなラストのヒネリは是？それとも非？やっぱりこの手の映画は、シンプル・イズ・ベストでは？

格闘能力に拍手！この受賞も当然

ティン役をつとめたトニー・ジャーが本作で魅せる、ムエタイ、カンフー、棍棒、剣術などありとあらゆる格闘技と武術の切れ味のすばらしさは、じっと観ていると鳥肌が立ってくるほど。彼の本作における新しい格闘法は「ナーターユット」というらしい。これはダンスの動きを戦闘に取り入れたものらしいから、そのすばらしさをタツプリと堪能したい。かつて千葉真一が主催したジャパン・アクション・クラブ（JAC）からは、志穂美悦子のようなアクション女優が誕生した。しかし、オリンピックでも世界選手権でも各国に遅れをとっている日本の体操や剣道、柔道、レスリングの状況、さらにボクシングやK-1の状況を見ても、武術や格闘技における日本の劣勢は明らか。そのうえ、草食系男子やイケメンばかりがもてはやされる今のご時世では、日本ではトニー・ジャーのような身

体能力を持ったアクションスターが生まれ育つ可能性は全くゼロ。そんな寂しさを一方で感じながら、“Martial Arts Global Celebration”で最優秀アクション俳優賞を受賞したトニー・ジャーの格闘能力に拍手！

2009(平成21)年11月28日記

表紙撮影の舞台裏(12)

1)『シネマルーム23』は「遊」をテーマとして上海の田子坊をカッコよく(?)歩く私の姿が表紙を飾ったが、これは09年8月にプロカメラマン陸震偉さんが撮影したものだ。それに対して『シネマルーム24』の表紙は、上海の豫園で09年9月19日に撮影したものだ。09年は中華人民共和国建国60周年の年だから、それが盛大に祝われていたが、写真右側には翌年に開催される上海万博のマスコットキャラクター「海宝(ハイバオ)」が並んで立っていた。この名前は中国語で「世界の宝」を意味する「四海之宝」という言葉が由来。覚えやすいことや発音の容易さなども評価された。上海万博のテーマは「より良い都市、より良い生活」だが、その中心は人だから、人の漢字をモチーフとしたデザインとなっている。互いに支えあう「人」という漢字のように、人と人、人と社会、人と自然がお互いに支え合っこそ、「より良い都市、より良い生活」が実現できるとの思いが込められているわけだ。また、海宝の体は青色だが、それは地球、夢、海、生命、未来、科学技術を象徴したもの。

2 豫園見物は08年8月の上海旅行に続く2度目だが、地図を見ながら自分達

だけで回ったのははじめてだ。豫園では水の上に浮かぶ九曲橋が有名。40元の入場料を払って豫園庭園の中に入るのがベストだが、いっぱいあるお店を一軒一軒見学して回るだけでも楽しい。昔懐かしい西洋鏡(からくり絵)のお店もおすすめだ。当日は快晴で太陽の日差しも強かったから綺麗な写真が撮れたが、広場内のこの記念撮影スポットは超満員。そんな中、グッドアングルでいい写真が撮れたのは厚かましのおかげ?他方、裏表紙は、昔懐かしい毛沢東語録を売っている店や1930年代の上海を描いた絵を売っている店など面白い店がいっぱい並び上海老街の入り口。安物売りの店も多いから、そこでの楽しみは値段交渉。日頃の欲求不満の解消にはそれが一番かも?

3 上海万博は今年5月1日に華々しく開催された。当初は入場者が殺到し、ケガ人まで出る騒ぎとなったが、その後の入場者は落ち込み気味。しかし、夏休みとなる7月以降はぐっと入場者も増えるはずだ。珍しく『シネマルーム24』には中国映画は一本も登場しないが、今年の夏は上海万博の見学を計画しながら本書を読んでみては?

2010(平成22)年6月1日記